

LINK Smart

もたず、つながる時代へ

株式会社 サイバーリンクス
2024年12月期 第1四半期決算説明資料
(2024年1月1日~3月31日)

2024年5月14日

INDEX

1. エグゼクティブサマリ
 2. 2024年12月期 第1四半期連結決算と通期見通し
 3. サイバーリンクスについて
-

※2023年第2四半期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っております。
本資料の2023年第1四半期の各数値は、暫定的な会計処理の確定の内容を反映したものです。

※2024年12月期より報告セグメントの区分方法を変更しております。
本資料では2023年12月期の各数値は、新たな区分方法に基づきセグメント毎の売上・利益を計算したものです。

以上の結果、2023年12月期第1四半期決算説明資料および2023年12月期決算説明資料との間で、一部差異が生じております。

1.エグゼクティブサマリ

売上高

流通の着実な成長や、モバイルの高価格端末の売行き好調により増収
2Q計画の進捗率は56.5%

経常利益

トラストのサービス提供拡大や、
モバイルの端末販売に係るインセンティブ増加により増益
2Q計画の進捗率は87.2%

(金額単位:億円)	2024年12月期 1Q実績	2023年12月期 1Q実績	対前年同期増減		2024年12月期 第2四半期計画	進捗率
			金額	%		%
売上高	43	42	+0.9	2.3	76	56.5
定常収入	19	18	+0.3	1.9	38	50.0
経常利益	3.5	3.5	+0.0	1.5	4.0	87.2
売上高経常利益率	8.3%	8.3%	▲0.1pt	—	5.4%	—

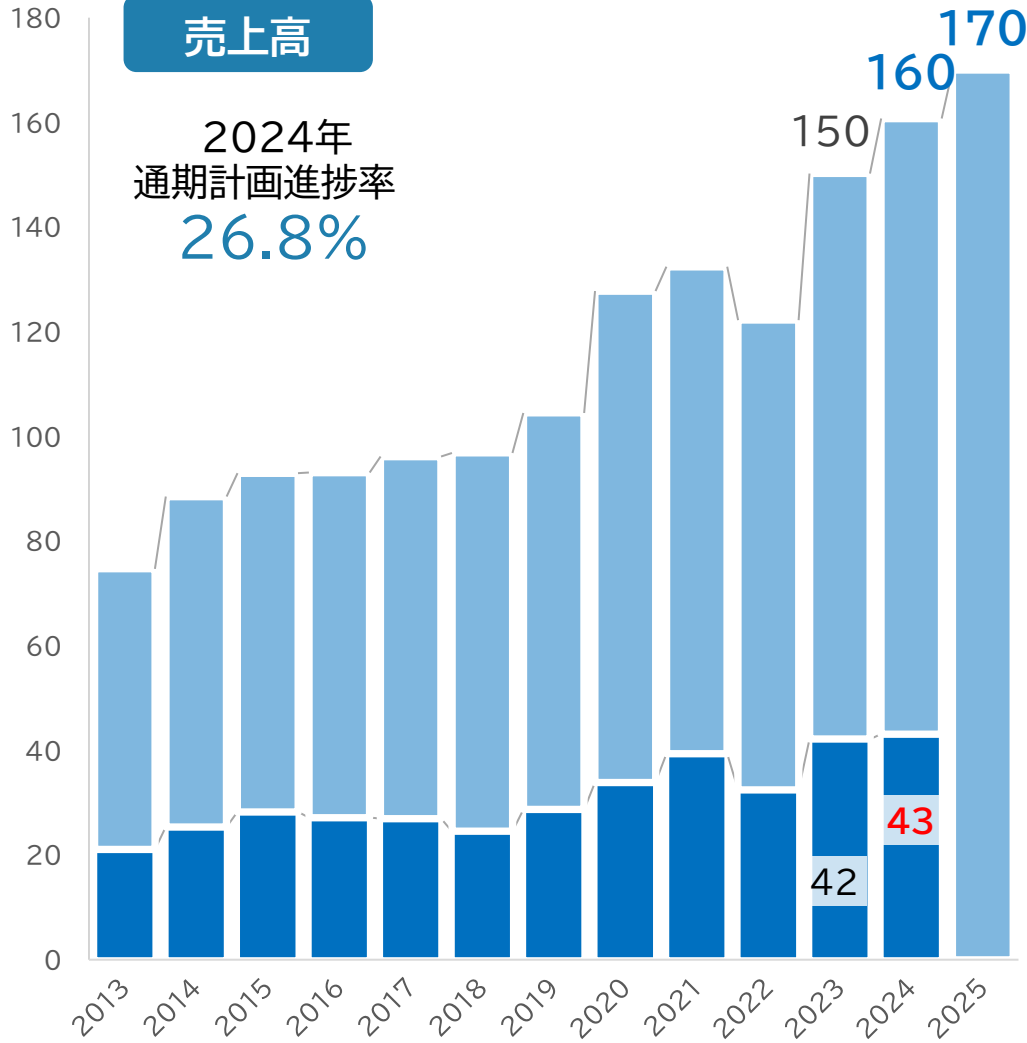
1. エグゼクティブサマリ 売上高・経常利益推移

シナジー社取得に係る償却負担
(2.4億円/年)をカバー

(単位:億円)

売上高

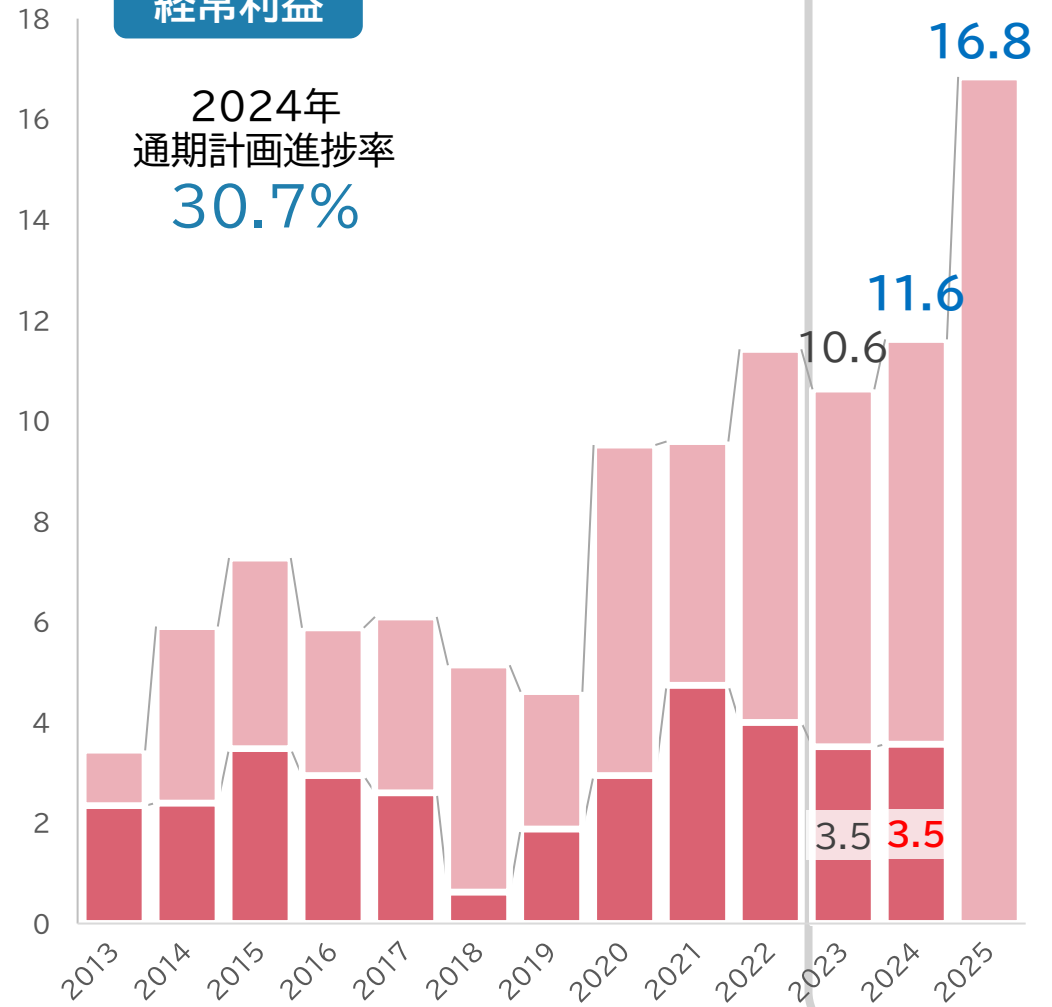
2024年
通期計画進捗率
26.8%



(単位:億円)

経常利益

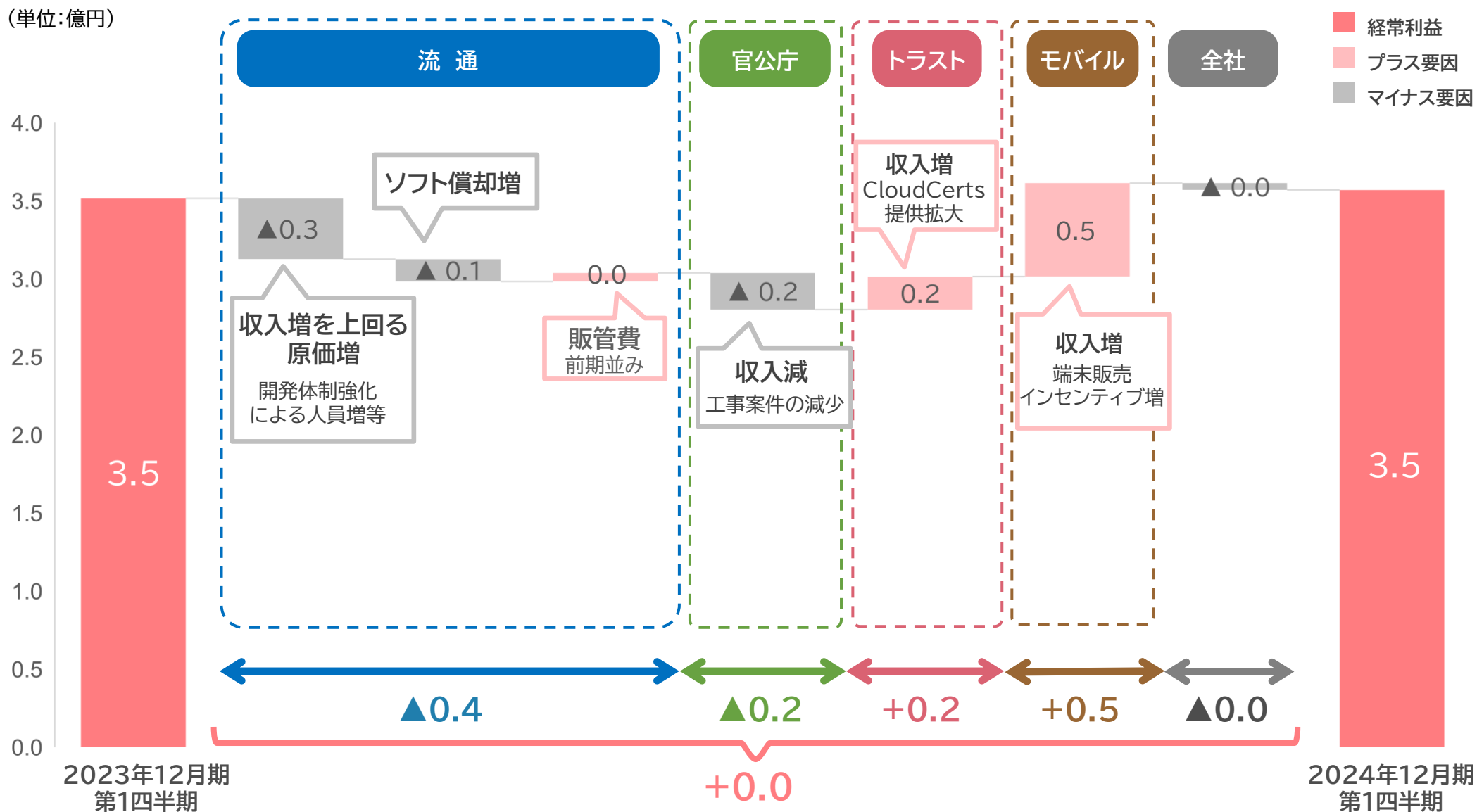
2024年
通期計画進捗率
30.7%



※積上グラフの下段は第1四半期、上段は通期業績から第1四半期を減算した値です。
※2024年通期は計画、2025年は中期経営計画値です。

2. 2024年12月期 第1四半期連結決算と通期見通し

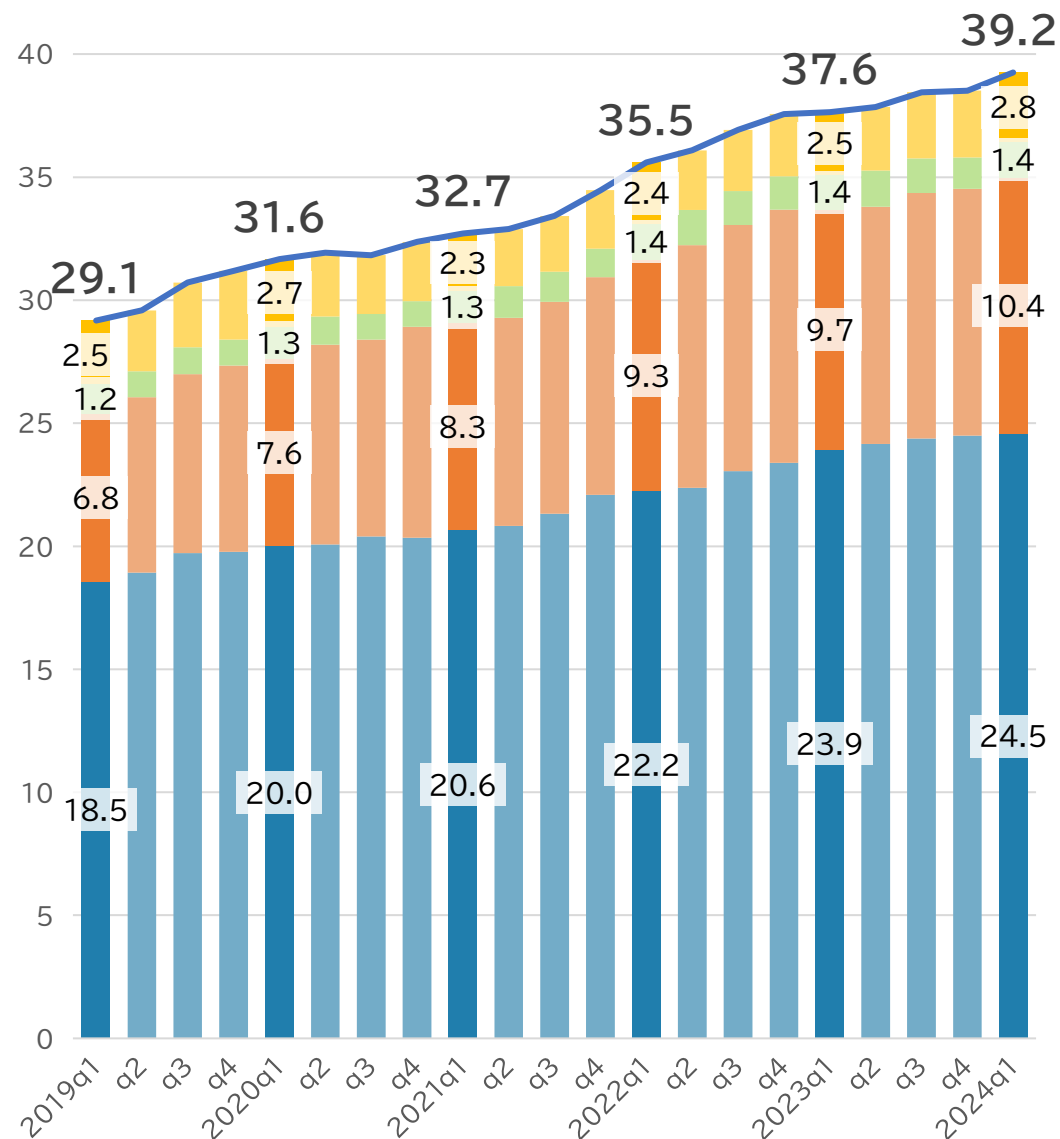
トラスト・モバイルの増益により、流通・官公庁の減益をカバー



ARR(各四半期末月の単月定常収入×12ヵ月)

例)2024年第1四半期の場合、
2024年3月単月の定常収入 × 12ヵ月 で算出

(単位:億円)



@rms基幹をはじめとした
食品小売業向けサービスの成長を軸に
年間約2億円を堅調に積み上げ

■食品小売業向けサービス

■加工食品卸売業向けサービス



前年同期比
+0.6



前年同期比
+0.6

■食品流通業界全体向けサービス

■専門店向けサービス



前年同期比
+0.0

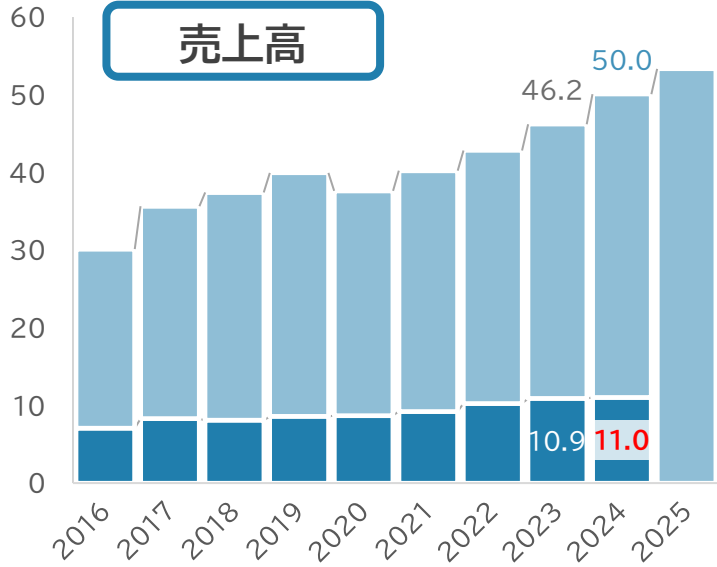


前年同期比
+0.2

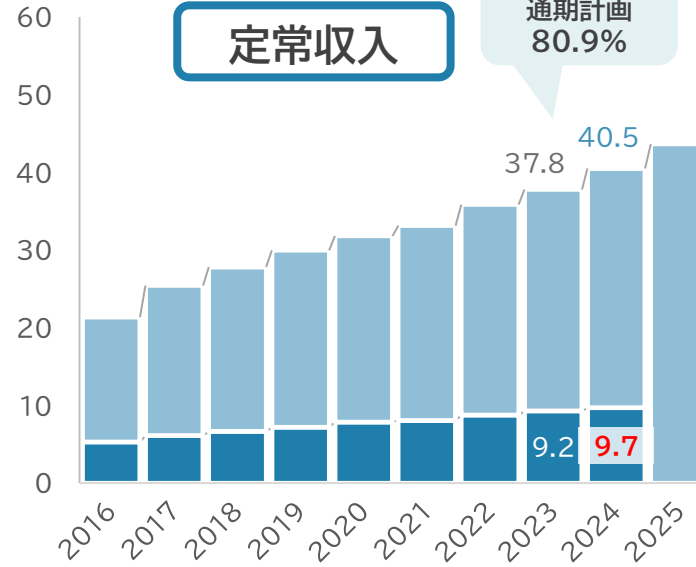
※2020q2については、一部特殊要因により発生した定常収入を調整

2. 2024年12月期 第1四半期連結決算と通期見通し 流通クラウド事業

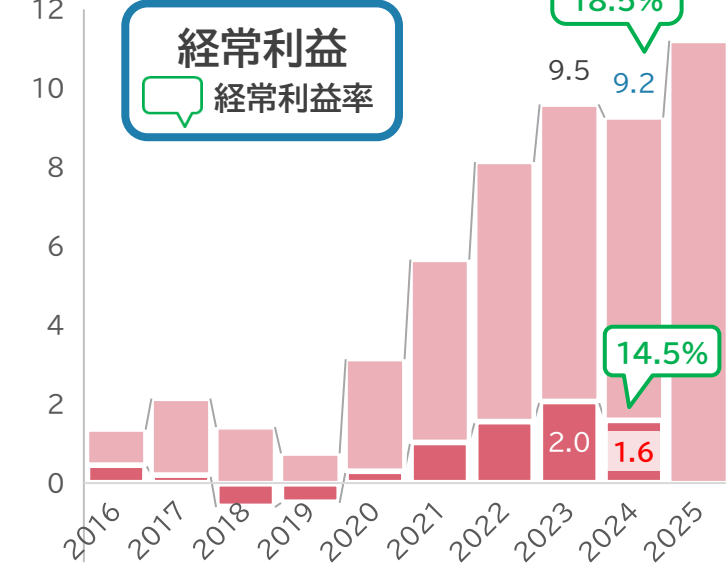
(単位:億円)



(単位:億円)



(単位:億円)



※2024年通期は計画、2025年は中期経営計画値です。

2024年第1四半期累計実績

定常収入の着実な増加で増収
開発人員増強等の影響により減益

- ◆小売向けEDIサービス「BXNOAH」等のサービス提供拡大で定常収入増加
- ◆主力サービス「@rms基幹」の高速処理化等の開発完了
→中大規模顧客向け展開の加速へ

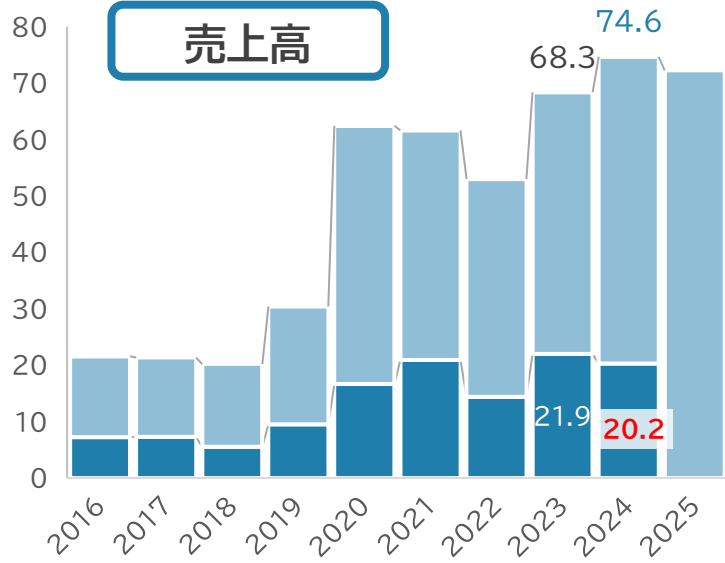
2024年通期見通し

成長スピード加速に向けた取組推進
ソフトウェア償却増加により減益

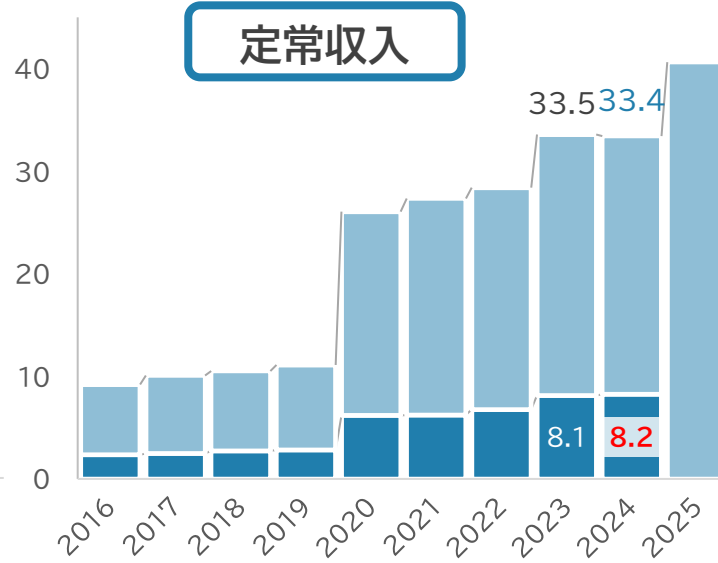
- ◆「@rms基幹」のブラッシュアップ継続、競争力強化へ
→高速処理化等の開発に係るソフトウェア償却開始
- ◆「C2Platform」商談支援サービスの日食協(※)及び大手食品卸売業数社との実証実験(2024年4月～) ※一般社団法人日本加工食品卸協会

2. 2024年12月期 第1四半期連結決算と通期見通し 官公庁クラウド事業

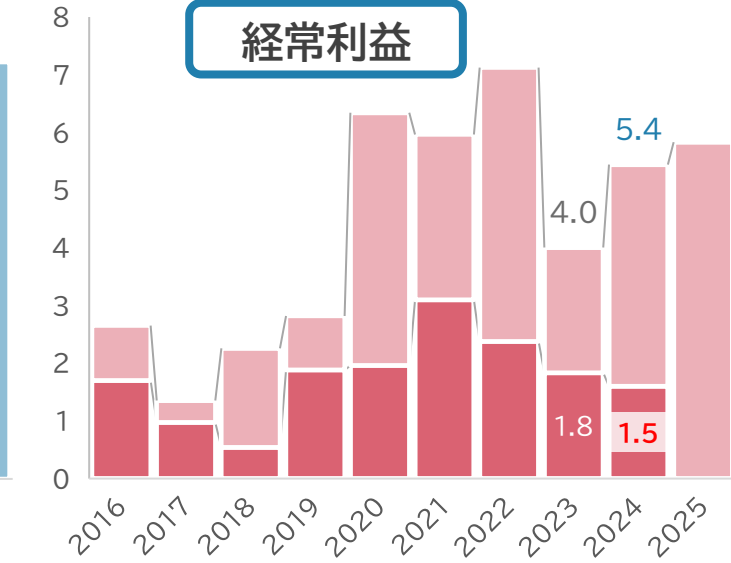
(単位:億円)



(単位:億円)



(単位:億円)



※2024年通期は計画、2025年は中期経営計画値です。

2024年第1四半期累計実績

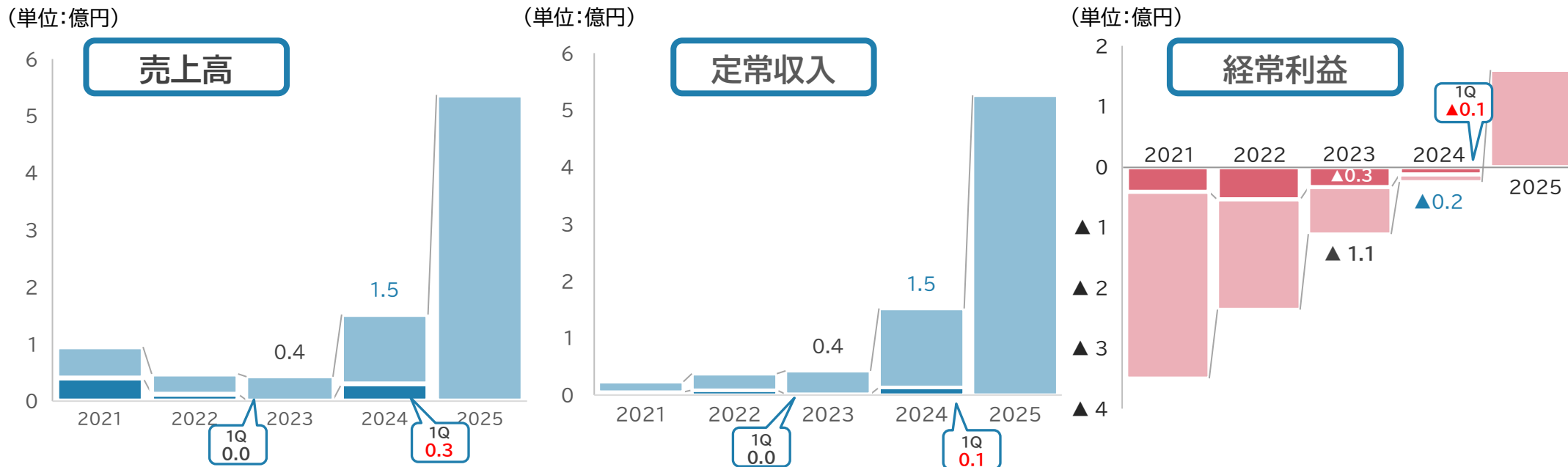
工事案件の減少により減収減益 「マイナサイン」提供拡大

- ◆医療分野での大型のシステム更新案件があったが、防災・ネットワーク工事案件の減少が響き、減収減益
- ◆電子認証サービス「マイナサイン」について、三田市が運営する複数のサービスに提供開始 → 全国に向けたサービス展開へ

2024年通期見通し

自治体DX案件等により増収目指す

- ◆「自治体基幹業務システムの統一・標準化」移行対応、文書管理システム「ActiveCity」等、自治体DX案件により増収目指す
- ◆M&Aに伴う償却約2.4億円/年は継続
 - ・ソフトウェア償却費約0.7億円/年(2025年終了)
 - ・のれん償却約1.6億円/年(2027年終了)



※2024年通期は計画、2025年は中期経営計画値です。

2024年第1四半期累計実績

CloudCerts展開により増収

◆デジタル証明書発行サービス「CloudCerts」の提供拡大により増収

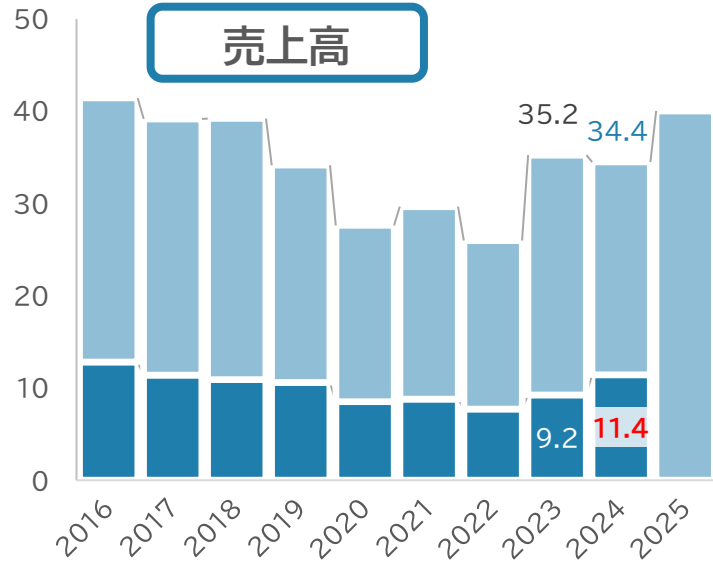
「デジタル薬剤師資格証」の発行開始
 国家資格保持証明書のデジタル化は国内初
 【関連動画】<https://irtv.jp/channel/14292>

2024年通期見通し

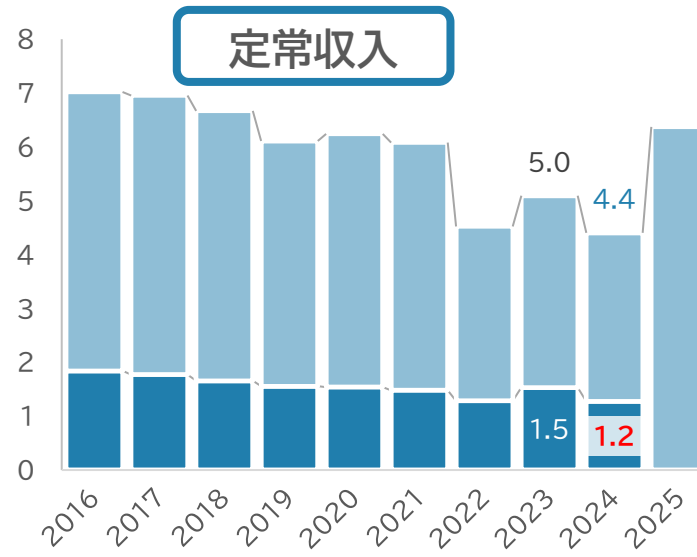
通期では経常損失計画 下期から黒字化見込む

◆展示会への出展等、「CloudCerts」のサービス展開に注力
 (5月開催ブロックチェーンEXPOに出展予定)

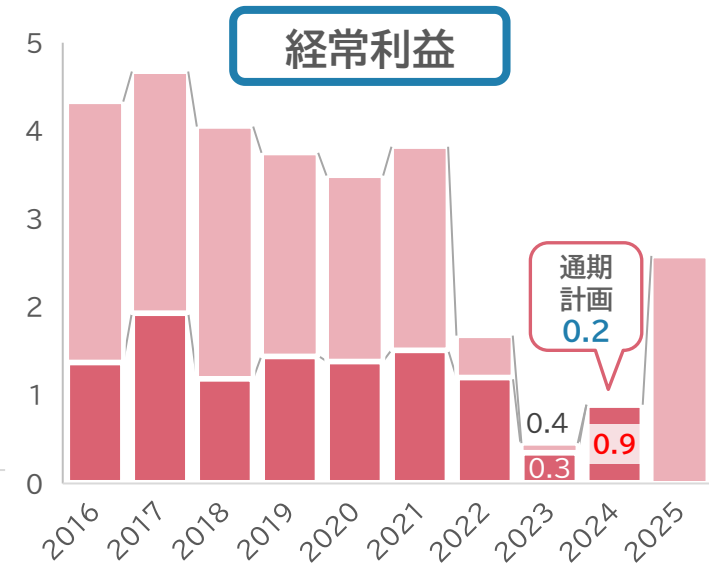
(単位:億円)



(単位:億円)



(単位:億円)



※2024年通期は計画、2025年は中期経営計画値です。

2024年第1四半期累計実績

2024年通期見通し

高価格帯端末の売行き好調により増収

- ◆高価格帯端末の売行きが好調、端末販売に係るインセンティブが増加し、増収増益

今後の見通しは依然不透明

- ◆出張販売や店舗の効率運営により、売上確保・利益改善に努める
- ◆法人向け営業を強化、DXソリューションの提供等、新たな収入獲得を目指す

3.サイバーリンクスについて

3. サイバーリンクスについて サイバーリンクスの強み

根源的な強み

「時流の先読み」

- ◆ システム投資が競争優位の源泉となる時代は終わる
- ◆ 非競争領域においては、共同利用(シェア)が主流になる

ビジネスモデル

「シェアクラウド」

- ◆ 業界に特化したシステムを“ハードもソフトも”、皆で利用(共同利用)する
→「業界最優良のシステム」を「安価に」利用いただける仕組み
- ◆ まだクラウドという言葉がなかった、2005年からサービス開始

➡ ITコストの削減と経営の効率化を実現

トップシェア

- ◆ 食品卸向けEDIサービスは
事実上**業界標準**サービス
(当社取扱商流額9.7兆円)

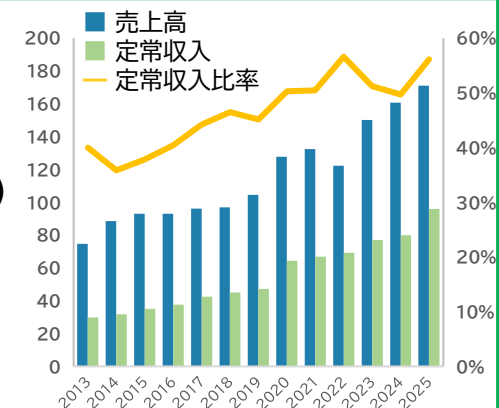


- ◆ 全国の約**30%**の食品スーパーが
当社システムをご利用

安定経営

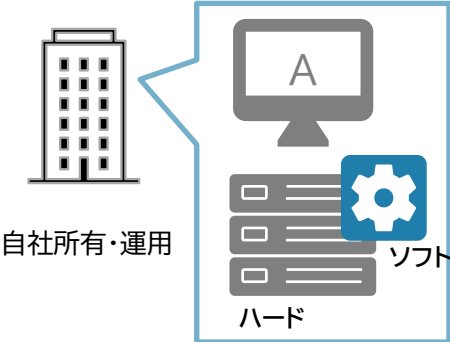
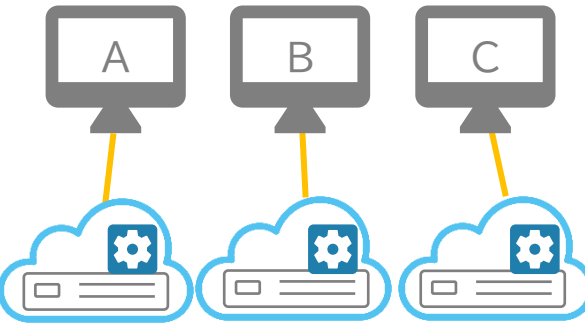
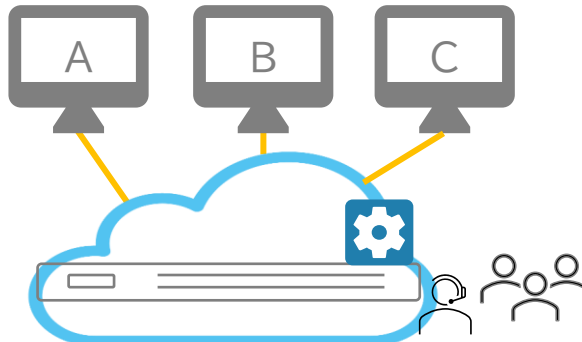
- ◆ 利用料や情報処理料などの
定常収入は**76億円**※!
(対売上比率**51.2%**)
- 定常収入をベースに
安定経営を実現

※2023年12月期実績

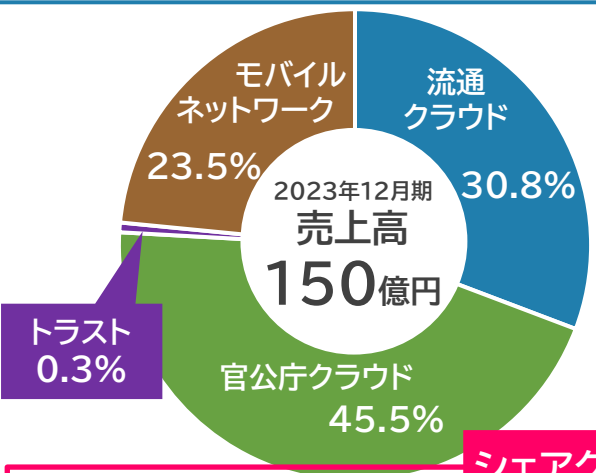


3. サイバーリンクスについて シェアクラウドとは

シェアクラウドとは、
個別企業の機能要求対応型ではなく、「**共同利用**」により、
業界最優良の機能を安価に提供するビジネスモデルです

	オンプレミス型のシステム利用		プライベートクラウド型のシステム利用		サイバーリンクスのシェアクラウド	
						
	ハード	オンプレミス	プライベートクラウド		共同利用	
	ソフト	パッケージ 独自システム	パッケージ	独自システム		
初期投資		ハード投資が高額 ソフトウェアも購入必要	ハード投資が高額 ソフトウェアも高額	ハード投資が安価 ソフトウェアは購入必要	ハード投資が安価 ソフトウェア投資は高額	ハードもソフトも、初期投資は安価
運用保守		ハードウェア・ソフトウェア保守要員が必要	ハードウェア保守は任せられるが、ソフトウェア保守要員が必要			ハードウェア、ソフトウェアともに、保守はアウトソーシング！
システム更新		数年に1度、ハードウェア更新が必要 ソフトウェアアップデートは高額	ハードウェア更新は不要だが、ソフトウェアアップデートは高額			ハードウェア更新は不要 ソフトウェアは継続的バージョンアップ！
ヘルプデスク		自社内での対応が必要	自社内での対応が必要			ヘルプデスクもサイバーリンクスにお任せ！

3. サイバーリンクスについて 事業構成(2023年12月期 連結ベース)



流通クラウド事業

売上 **46** 億円 経常利益 **9.5** 億円

シェアクラウド中心 成長ドライバー

官公庁クラウド事業

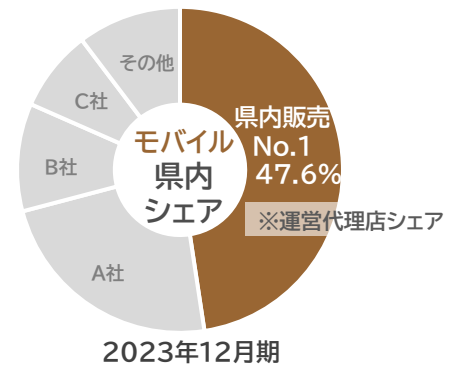
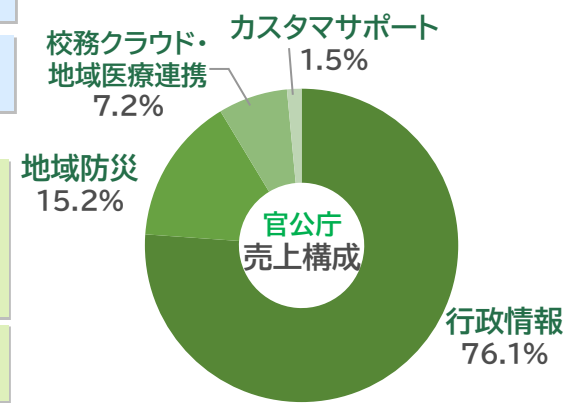
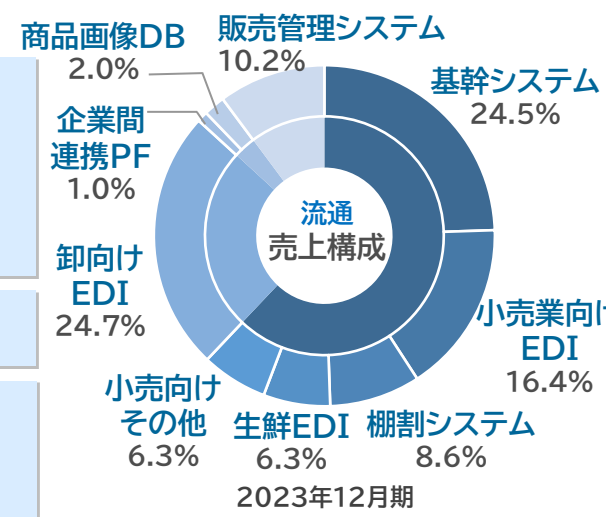
売上 **68** 億円 経常利益 **4.0** 億円

トラスト事業

売上 **0.4** 億円 経常利益 **▲1.1** 億円





モバイルネットワーク事業

売上 **35** 億円 経常利益 **0.4** 億円







2005年、日本で初めてクラウド小売基幹サービス「@rms基幹」を投入 周辺サービスのラインナップを順次拡大

食品スーパー向けの主なサービス

サービス名	サービス内容	業界順位 (※当社調べ)
基幹システム 	発注・仕入・在庫・売上管理などの 基幹業務全体をサポート	クラウド 小売基幹系システム No.1
(小売向け)インターネットEDI 	受発注をはじめとした 電子データ交換(EDI)をサポート	小売向け インターネットEDI No.1
生鮮発注システム 	生鮮食品に特化したEDIサービス 相場変動や市場買付等の生鮮特有の商慣習に対応	生鮮発注システム No.1
棚割システム 	棚割の管理・作業指示・分析により、 マーチャンダイジングの最適化をサポート	棚割システム No.1

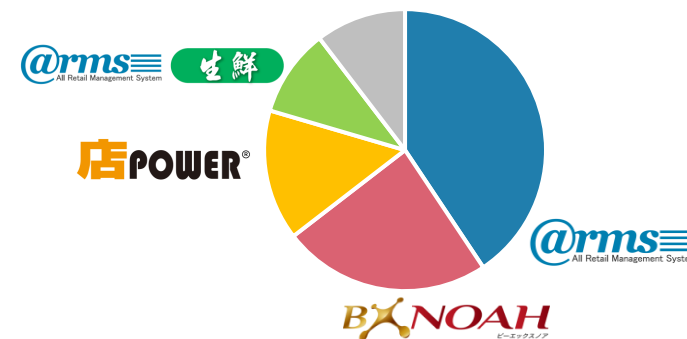
3. サイバーリンクスについて 主要サービス 流通クラウド 食品小売業向けクラウド

サービス別月額料金体系(定常収入)

	基本料金 + 店舗数課金
	基本料金 + 取引先数課金
	基本料金 + 取引先数課金 + 店舗数課金
	ID数課金

※標準的な課金体系です。

食品小売業向け定常収入
サービス別構成
(2023年12月期)



店舗数の増加 = 定常収入増加



@rms基幹導入店舗*1

1,256店 / 市場全体 21,000店*2

中計目標値は
p19参照

*1「@rms基幹」導入店舗数(2024年12月期 第1四半期末時点)

*2市場全体の店舗数は当社独自に試算した数値

小売からの様々な通信手段による受発注データを卸売業に代わって一括整理(業界初)する「クラウドEDI-Platform」

卸売業向けクラウドサービス
クラウドEDI-Platform

商流額*1

9.7兆円 
/市場全体36兆円*2
2024年12月期 第1四半期末時点

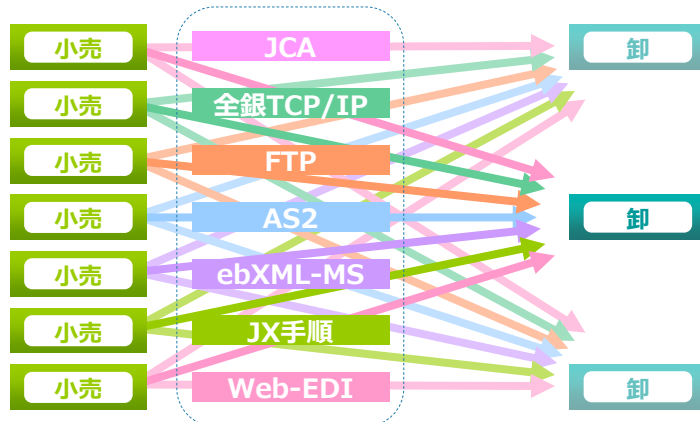
加工食品卸売上高
上位10社中 **8社** に導入
大手メーカーへも導入

*1クラウドEDI-Platformを利用してお客様が行う受発注金額
*2市場全体の商流額は当社独自に試算した数値



流通EDI No.1クラウド (卸側EDI処理量)

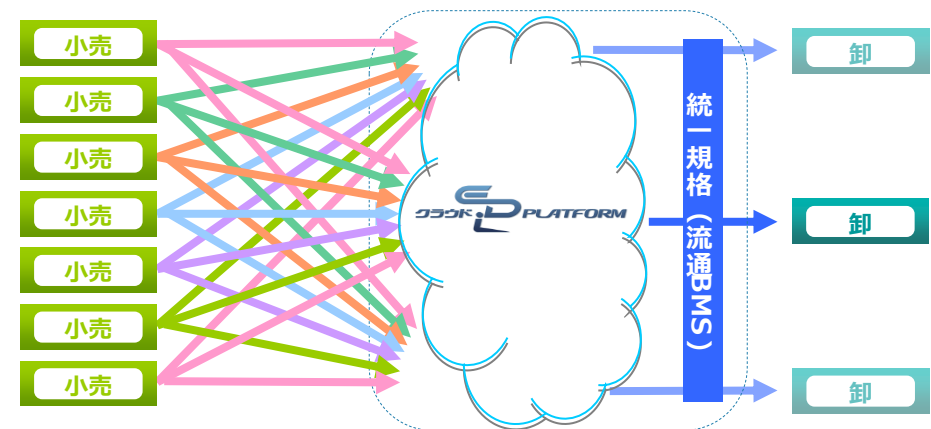
多種多様な通信手段の発注データ



回線種・
通信手段を
一本化



統一規格 (流通BMS) で卸売業に送信



3. サイバーリンクスについて 主要サービス 流通クラウド KPI

(店舗)

食品小売(@rms)	2020年実績	2023年実績	2024年1Q実績	2025年計画
KPI: 店舗数 (市場全体: 21,000店舗)	1,205	1,304	1,256 (▲48※)	1,765

*「@rms基幹」導入店舗数

※大口ユーザー企業1社の解約等

(兆円)

加工食品卸(EDI-Platform)	2020年実績	2023年実績	2024年1Q実績	2025年計画
KPI: 商流額 (市場全体: 36兆円)	8.7	9.4	9.7 (+0.2)	12.3

*当社サービスを利用して、お客様が行う受発注金額

(ID)

小売・卸・メーカー (C2Platform)	2020年実績	2023年実績	2024年1Q実績	2025年計画
KPI: ID数 (市場全体: 220,000ID)	0	160	164 (+4)	5,000

小売

@rms基幹システム

卸

EDI-Platform
(商流プラットフォーム)

メーカー

C2Platform
(商談プラットフォーム)

官公庁クラウド

大きく進展するデジタル化を、
地方自治体の立場に立ってサポート

自治体

行政情報システム(基幹系・情報系)

- ・自治体情報セキュリティクラウドサービス
- ・情報系システム(文書管理等)
- ・基幹系システム

地域防災システム(防災無線等)

小中学校

校務クラウドサービス(Clarinet)

医療機関

医療連携プラットフォーム

電子カルテ、医療事務システム

モバイルネットワーク

和歌山県内の約半数のドコモショップを
運営する県内最大のNTTドコモ代理店



ドコモショップ岩出店 (和歌山県内最大店舗)



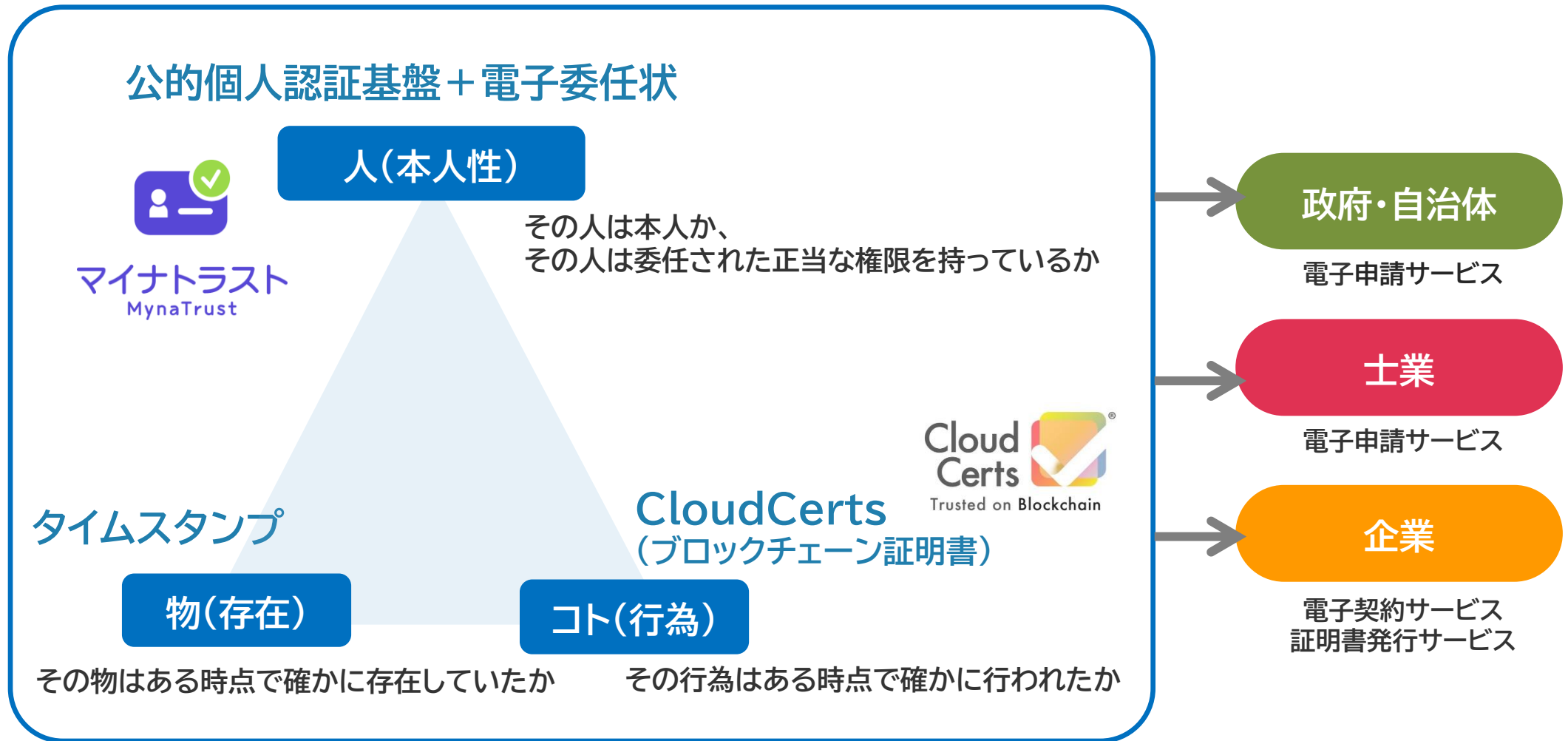
ドコモショップセントラルシティ和歌山店



ドコモショップ田辺店

3. サイバーリンクスについて 主要サービス トラスト

マイナンバーカードをベースにした「第3のトラスト」を中核的な強みとして、「人(本人性)、物(存在)、コト(行為)」全方位のトラストサービスを展開



3. サイバーリンクスについて その他コンテンツのご案内

シェアードリサーチ

当社の強み、事業環境、業績、近時の取り組みなどを分かりやすく掲載

<https://sharedresearch.jp/ja/companies/3683>

IRTV

IRRobotics社が運営する動画メディア「IRTV」での動画公開を開始
当社の事業内容やリリース情報等を分かりやすく説明します

社長交代で新体制へ/流通事業の急成長を目指す

<https://www.youtube.com/watch?v=uw-6EG6WXo>



JapanStockChannel

IRRobotics社が運営する動画メディア「JapanStockChannel」に出演
当社の軌跡、成長性、将来ビジョンを3話構成でご説明します

第1話 戦後にテレビを自力で組み立てた事から始まったストーリー

<https://youtu.be/WThVNgtZjpM>

第2話 急成長のフェーズへ！売上高経常利益率20%の法則！

<https://youtu.be/eLaCAJj-E>

第3話 トランスフォーメーション2025！中期経営計画も計画を上回り推移中！

<https://youtu.be/Jm7hvLLyqU>

※動画は見直し前の中期経営計画がベースとなっております。

補足資料

補足資料 2024年12月期 第1四半期連結決算 連結損益計算書

(単位:百万円)

	2023年12月期 第1四半期 (実績)	2024年12月期 第1四半期 (実績)	前年同期比 増減率	2024年12月期 第2四半期 (計画)	進捗率
売上高	4,215	4,311	2.3%	7,632	56.5%
流通クラウド事業	1,090	1,104	1.4%	2,409	45.9%
官公庁クラウド事業	2,198	2,027	▲7.8%	3,473	58.4%
トラスト事業	1	30	1659.2%	50	60.8%
モバイルネットワーク事業	925	1,149	24.2%	1,700	67.6%
定常売上高	1,898	1,935	1.9%	3,870	50.0%
流通クラウド事業	929	970	4.3%	1,977	49.1%
官公庁クラウド事業	814	825	1.4%	1,627	50.7%
トラスト事業	1	13	676.2%	50	26.8%
モバイルネットワーク事業	152	126	▲17.5%	216	58.4%
営業利益	335	355	6.0%	406	87.7%
経常利益	351	356	1.5%	409	87.2%
流通クラウド事業	207	160	▲23.0%	420	38.1%
官公庁クラウド事業	183	159	▲12.8%	174	91.8%
トラスト事業	▲34	▲13	—	▲32	—
モバイルネットワーク事業	35	95	168.8%	35	272.3%
調整額	▲40	▲45	—	▲188	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	10	228	2001.3%	232	98.6%
1株当たり四半期純利益	0円97銭	20円52銭	—	20円80銭	—

補足資料 2024年12月期 第1四半期連結決算 連結貸借対照表

(単位:百万円)

		2023年 12月末		2024年 3月末			増減要因
		金額	構成比	金額	構成比	増減額	
資 産	流動資産	6,256	47.9%	6,801	49.6%	544	受取手形、売掛金及び契約資産の増加
	固定資産	6,796	52.1%	6,922	50.4%	125	ソフトウェアの増加
	資産合計	13,053	100.0%	13,724	100.0%	670	
負 債 ・ 純 資 産	流動負債	3,295	25.2%	3,988	29.1%	692	借入により短期借入金が増加
	固定負債	2,330	17.9%	2,215	16.1%	▲114	返済により長期借入金が減少
	負債合計	5,625	43.1%	6,203	45.2%	578	
	純資産合計	7,427	56.9%	7,520	54.8%	92	四半期純利益の積み上がりにより利益剰余金が増加
	負債純資産合計	13,053	100.0%	13,724	100.0%	670	

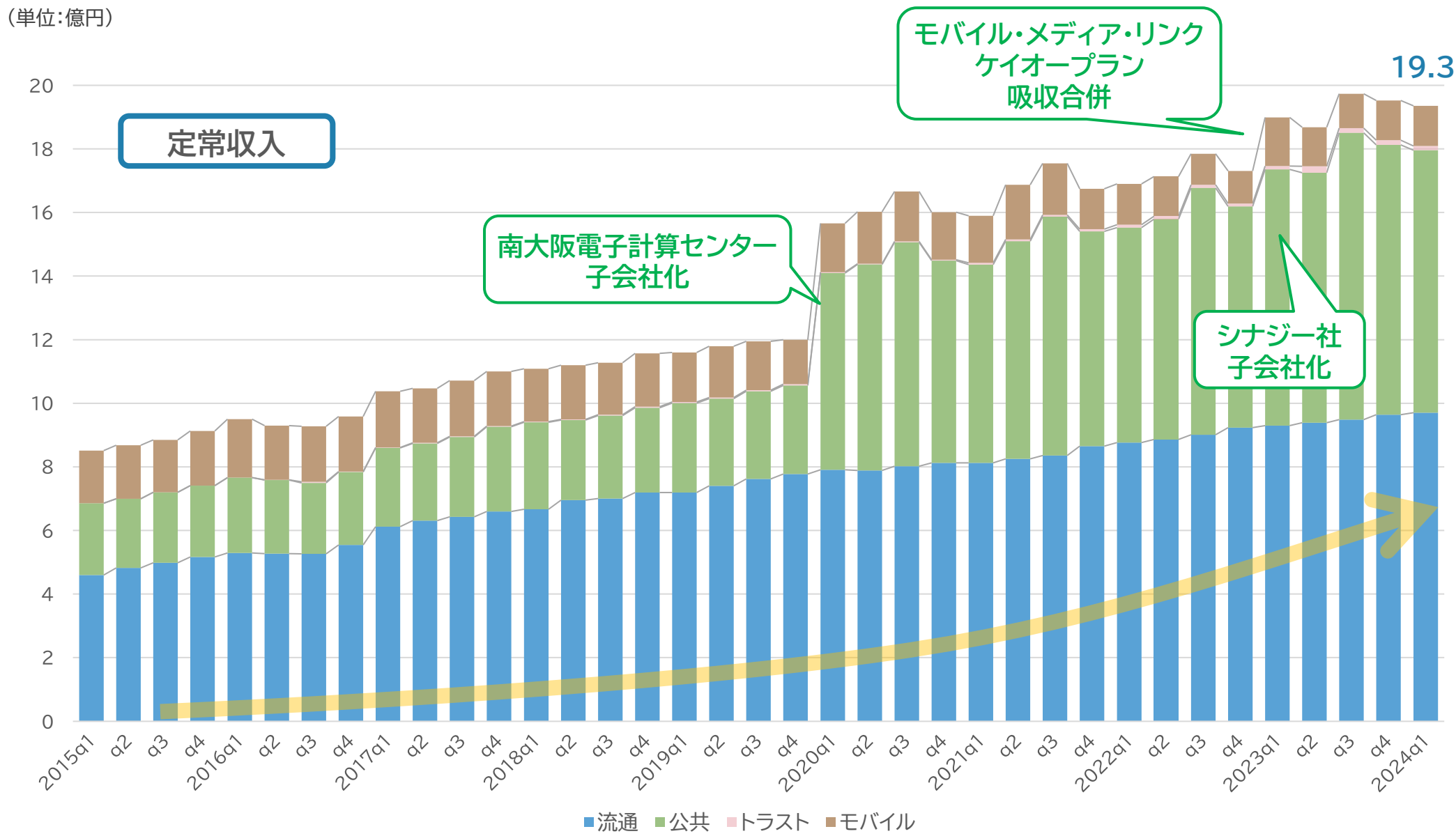
補足資料 2024年12月期 業績見通し 連結損益計算書

(単位:百万円)

	2023年12月期 (実績)	2024年12月期 (※) (見通し)	前期比 増減率
売上高	15,023	16,073	7.0%
流通クラウド事業	4,622	5,009	8.4%
官公庁クラウド事業	6,835	7,463	8.4%
トラスト事業	42	152	71.9%
モバイルネットワーク事業	3,523	3,449	▲2.1%
定常売上高	7,692	7,988	3.8%
流通クラウド事業	3,781	4,052	7.1%
官公庁クラウド事業	3,358	3,344	▲0.4%
トラスト事業	42	152	72.0%
モバイルネットワーク事業	509	440	▲13.6%
営業利益	1,040	1,155	11.0%
経常利益	1,062	1,162	9.3%
流通クラウド事業	958	926	▲3.4%
官公庁クラウド事業	400	544	26.4%
トラスト事業	▲111	▲25	—
モバイルネットワーク事業	45	29	▲36.5%
調整額	▲230	▲312	—
親会社株主に帰属する当期純利益	445	714	60.4%
1株当たり当期純利益	39円95銭	64円03銭	—

※2024年2月14日に公表した業績予想からの修正はありません

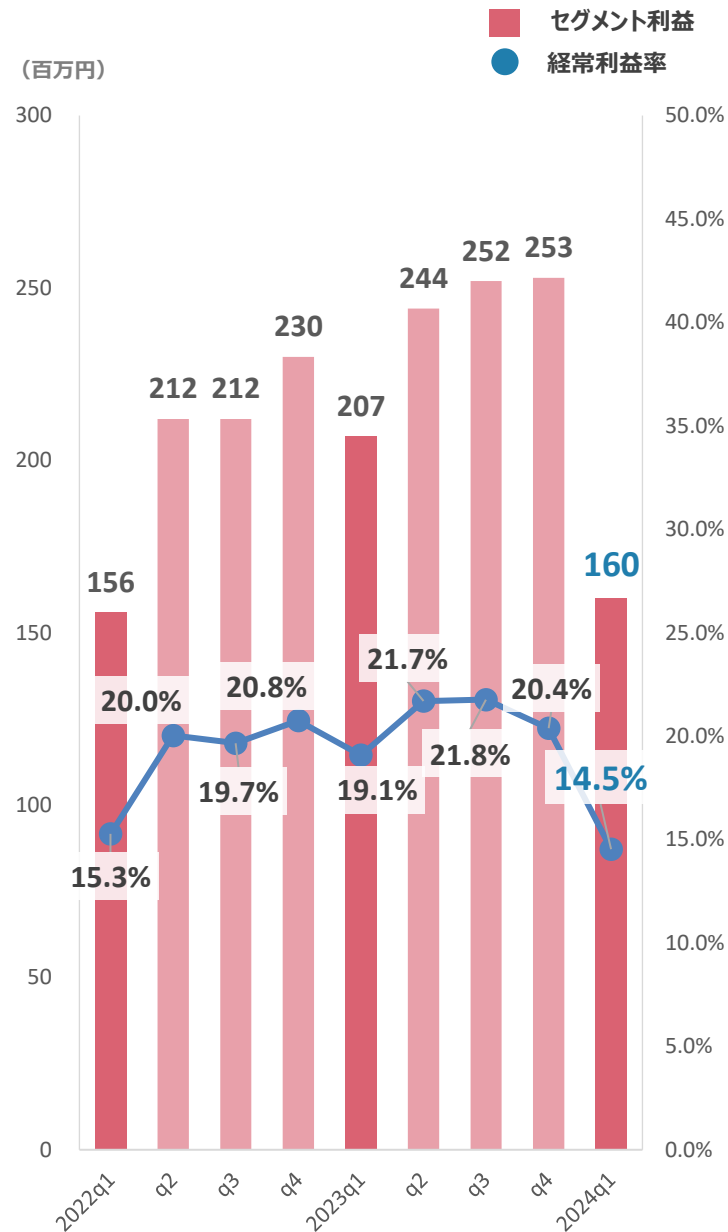
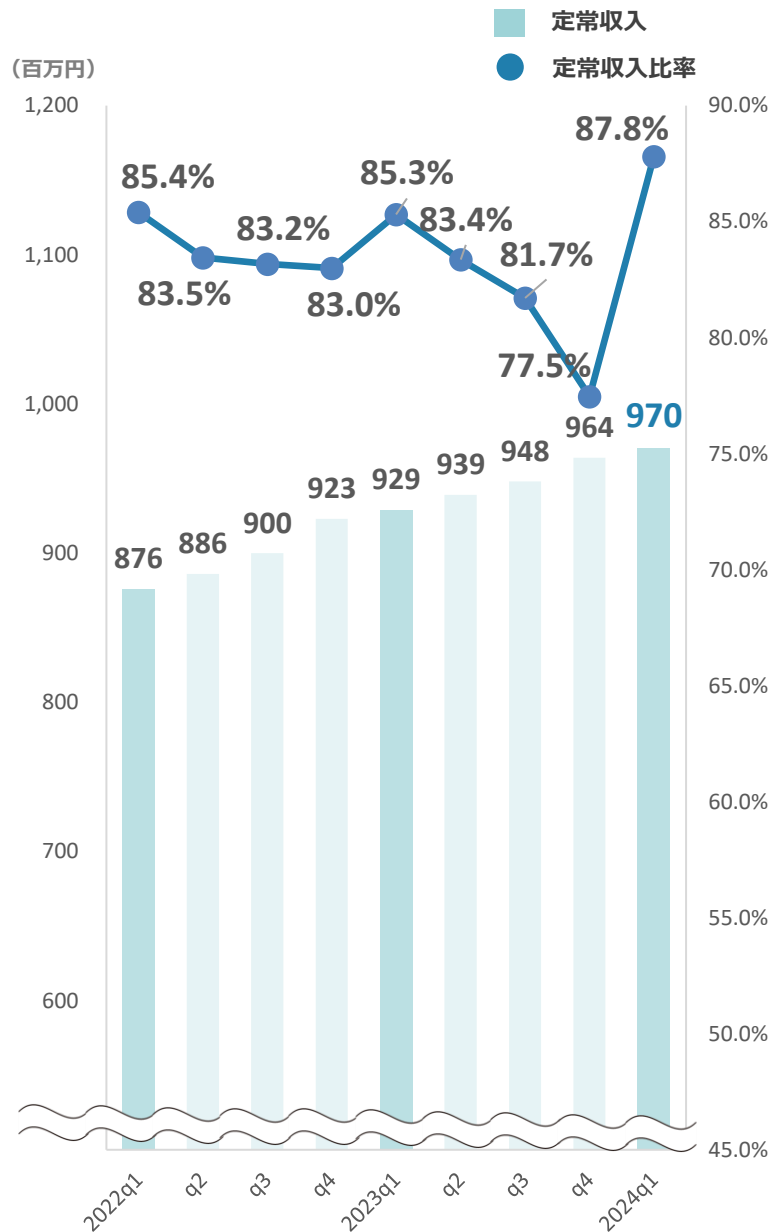
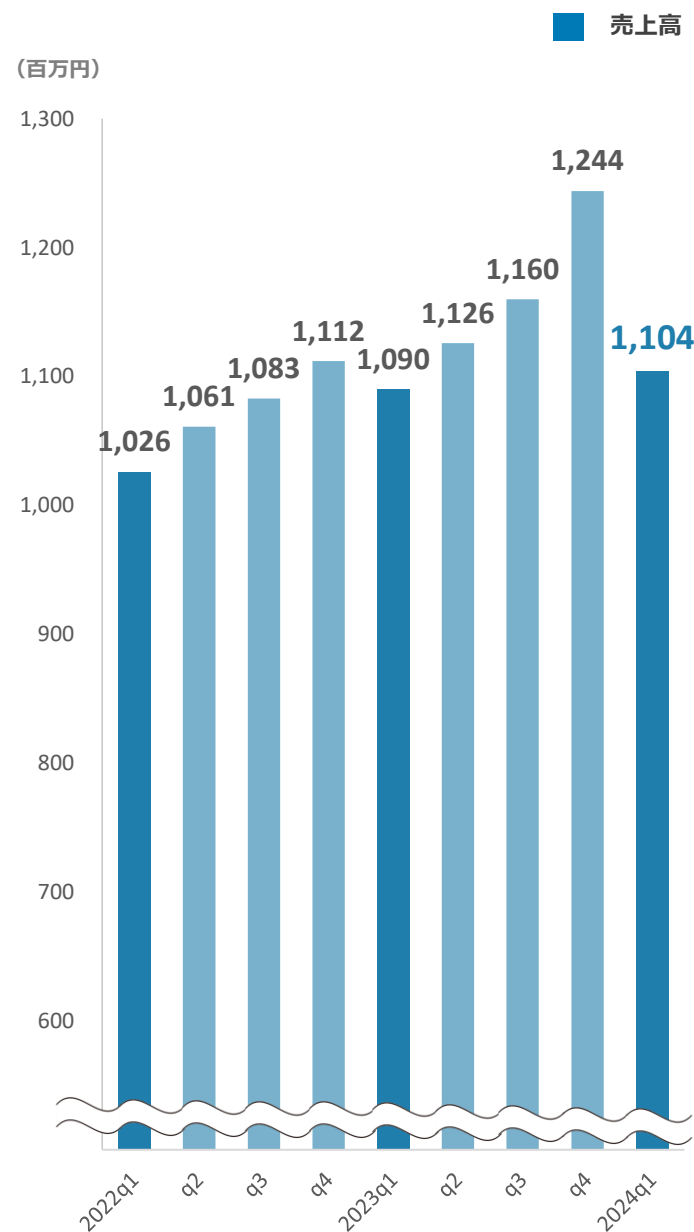
流通クラウド事業を中心に継続的に伸長



【売上高】

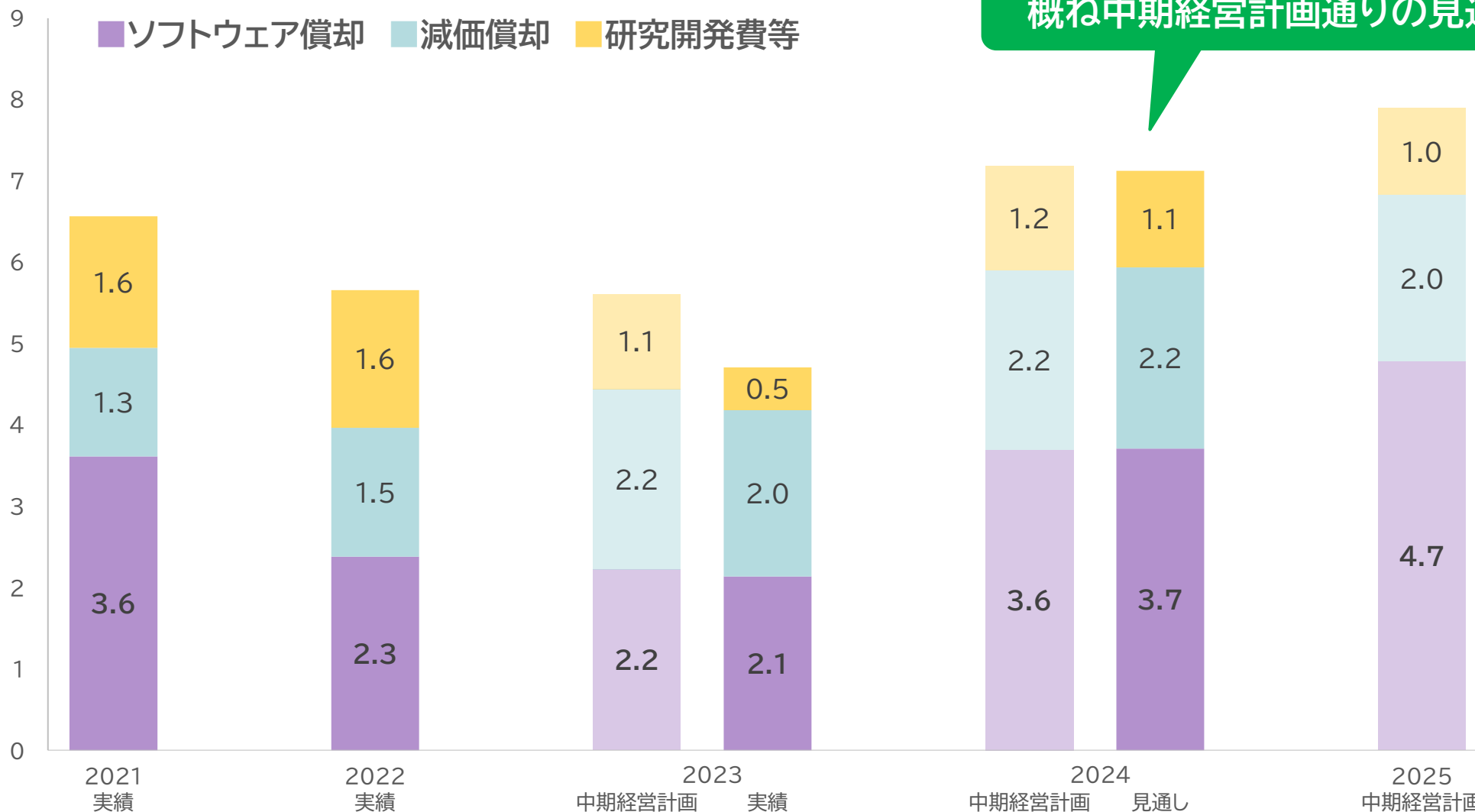
【定常収入・定常収入比率】

【セグメント利益・利益率】



「@rms基幹」に係る中大規模顧客展開加速に向けた 開発強化実施により、ソフトウェア償却は増加傾向

(単位:億円)



概ね中期経営計画通りの見通し

WiLL makes anything すべては思うことから始まる—



本資料に関するお問合せ
株式会社サイバーリンクス 経営企画課

<https://www.cyber-l.co.jp/inquiry/>

■ 本資料の取り扱いについて

- ・本書には、当社グループに関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- ・別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- ・当社グループは、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- ・当社グループ以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。

WiLL makes anything